議 案 乙 第 ３ ５ 号

令 和 ８ 年 度

伊万里市水道事業特別会計補正予算

（ 第 ２ 号 ）

議案乙第３５号

令和８年度　伊万里市水道事業特別会計補正予算（第２号）

（総　　則）

第１条　令和８年度伊万里市水道事業特別会計の補正予算（第２号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第２条　令和８年度伊万里市水道事業特別会計予算（以下「予算」という。）第３条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（　科　　目　）	（既決予定額）	（補正予定額）	（　計　）
	収 入		（単位：千円）
第１款　水　道　事　業　収　益	1,533,358	9,297	1,542,655
第２項　営　業　外　収　益	381,467	9,297	390,764
	支 出		（単位：千円）
第１款　水　道　事　業　費　用	1,533,358	9,297	1,542,655
第１項　営　　業　　費　　用	1,420,214	9,297	1,429,511

（資本的収入及び支出）

第３条　予算第４条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額867,130千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額20,426千円及び過年度分損益勘定留保資金846,704千円で補てんするものとする。」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額805,619千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額31,854千円及び過年度分損益勘定留保資金773,765千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（　科　　目　）	（既決予定額）	（補正予定額）	（　計　）
	収 入		（単位：千円）
第１款　資　本　的　収　入	146,236	63,216	209,452
第４項　出　　資　　金	1	63,216	63,217
	支 出		（単位：千円）
第１款　資　本　的　支　出	1,013,366	1,705	1,015,071
第１項　建　設　改　良　費	756,890	1,705	758,595

（他会計からの補助金）

第４条　　予算第９条に定めた他会計からの補助金の金額を次のとおり補正する。

（　科　　目　）	（既決予定額）	（補正予定額）	（　計　）
			（単位：千円）
（１）　企業債償還利息等に対する補助金	147,527	9,297	156,824

令和８年１２月１日 提出

伊 万 里 市 長　　深　浦　弘　信

令和８年度　伊万里市水道事業特別会計補正予算実施計画

（収益的収入及び支出）

収　　入　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 水道事業収益			1,533,358	9,297	1,542,655
	2 営業外収益		381,467	9,297	390,764
		2 他会計補助金	147,527	9,297	156,824

支　　出　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 水道事業費用			1,533,358	9,297	1,542,655
	1 営業費用		1,420,214	9,297	1,429,511
		1 原水及び浄水費	363,034	6,297	369,331
		2 配水及び給水費	202,363	2,500	204,863
		4 総係費	183,225	500	183,725

（資本的収入及び支出）

収　　入　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的収入			146,236	63,216	209,452
	4 出資金		1	63,216	63,217
		1 他会計出資金	1	63,216	63,217

支　　出　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的支出			1,013,366	1,705	1,015,071
	1 建設改良費		756,890	1,705	758,595
		1 原水設備改良費	15,130	1,705	16,835

令和８年度　伊万里市水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書

（令和８年４月１日から令和９年３月３１日）

単位：千円

	既決予定額	変更予定額	増　減
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー			
未収金の増減額（△は増加）	238,143	75,016	△ 163,127
営業活動から得た現金・預金	511,463	348,336	△ 163,127
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー			
１　有形固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 756,530	△ 758,080	△ 1,550
投資活動から得た現金・預金	△ 1,110,507	△ 1,112,057	△ 1,550
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー			
３　他会計からの出資金	1	63,062	63,061
財務活動から得た現金・預金	△ 258,144	△ 195,083	63,061
Ⅳ　資金増減額（△は減少）	△ 857,188	△ 958,804	△ 101,616
Ⅴ　資金期首残高	2,013,017	2,117,170	104,153
Ⅵ　資金期末残高	1,155,829	1,158,366	2,537

令和８年度　伊万里市水道事業特別会計予定貸借対照表

（令和９年３月３１日・税抜き）

資　産　の　部

単位：千円

１　固定資産				
（１）有形固定資産				
イ　土地			517,051	
ロ　建物		2,370,733		
減価償却累計額		△ 768,697	1,602,036	
ハ　構築物		23,982,550		
減価償却累計額		△ 11,923,599	12,058,951	
ニ　機械及び装置		7,008,465		
減価償却累計額		△ 4,738,542	2,269,923	
ホ　車両運搬具		37,047		
減価償却累計額		△ 14,276	22,771	
ヘ　工具器具及び備品		171,315		
減価償却累計額		△ 125,800	45,515	
ト　建設仮勘定			2,402,098	
有形固定資産合計				18,918,345
（２）無形固定資産				
イ　電話加入権			201	
ロ　無形固定資産			12,041	
無形固定資産合計				12,242
（３）投資				
イ　出資金			275	
ロ　その他投資			145	
投資合計				420
固定資産合計				18,931,007
２　流動資産				
（１）現金預金				1,158,366
（２）未収金			147,492	
貸倒引当金			△ 625	146,867
（３）貯蔵品				16,086
（４）前払金				115,002
流動資産合計				1,436,321
資産合計				20,367,328

負　債　の　部

単位：千円

3	固定負債			
	（1）企業債			
	イ　建設改良に要する企業債	5,184,682	5,184,682	
	（2）リース債務		0	
	（3）引当金			
	イ　退職給付引当金	232,504	232,504	
	固定負債合計			5,417,186
4	流動負債			
	（1）企業債			
	イ　建設改良に要する企業債	260,752	260,752	
	（2）リース債務		0	
	（3）未払金		127,723	
	（4）前受金		0	
	（5）引当金			
	イ　賞与引当金	11,972		
	ロ　法定福利費引当金	2,387	14,359	
	（6）その他流動負債			
	イ　預り保証金	100		
	ロ　預り金	50,977	51,077	
	流動負債合計			453,911
5	繰延収益			
	（1）長期前受金		9,190,630	
	（2）収益化累計額		△ 5,272,386	
	繰延収益合計			3,918,244
	負債合計			9,789,341

資　本　の　部

6	資本金			9,604,147
7	剰余金			
	（1）資本剰余金			
	イ　国庫補助金	258,172		
	ロ　県補助金	76,220		
	ハ　給水負担金	142,181		
	ニ　工事負担金	13,628		
	ホ　受贈財産評価額	109,402		
	ヘ　その他資本剰余金	39,589		
	資本剰余金合計		639,192	
	（2）利益剰余金			
	イ　減債積立金	120,000		
	ロ　建設改良積立金	198,000		
	ハ　当年度未処分利益剰余金			
	①　繰越利益剰余金年度末残高	16,648		
	②　当年度純利益	0		
	③　その他未処分利益剰余金変動額	0	16,648	
	利益剰余金合計		334,648	
	剰余金合計			973,840
	資本合計			10,577,987
負債・資本合計				20,367,328

【注　記】

Ⅰ．重要な会計方針

１　固定資産の減価償却の方法

(1)　有形固定資産

・減価償却の方法　　定額法による。
・主な耐用年数

建　物	8 ～ 65年
構築物	10 ～ 80年
機械及び装置	5 ～ 20年
車両運搬具	3 ～ 5年
工具器具及び備品	3 ～ 15年

(2)　無形固定資産

・減価償却の方法　　定額法による。
・主な耐用年数

その他無形固定資産	5年

２　引当金の計上方法

(1)　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、水道事業に在職し、又は在職したことのある全ての職員に係る当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額について、「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に定める負担区分に基づき、一般会計が負担すると見込まれる金額を除いた額を計上している。

(2)　賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における翌年度の支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3)　法定福利費引当金

職員の期末勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における翌年度の支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4)　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等により回収不能見込額を計上している。

３　その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

(1)　消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式により行っている。

Ⅱ．予定キャッシュ・フロー計算書等関連

1　重要な非資金取引

該当事項なし。

Ⅲ．予定貸借対照表等関連

1　企業債の償還に係る一般会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は666,235千円である。

2　引当金の取崩し

(1)　退職給付引当金

当年度末において「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に基づき、水道事業特別会計が退職手当の一部を負担するため、退職給付引当金5,539千円を取り崩すものである。